

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立久喜工業高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、「“こころ・技・からだ”が育つ学校」という学校の特色を踏まえた適切かつ明瞭な学校像が設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。やや網羅的な目標となっているので、中期的な視点に立ち、保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年・学科・教科のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。各教科・学科が行う基礎学力向上のための取組を一覧にするなど、学校自己評価システムが組織的かつ適切に運営されており、学校関係者の意見などがうまく活用された取組となっている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	一人一人の進路実現に向けて様々な方策が実施され、就職内定率100%など継続的かつ安定した成果を上げている。評価指標がやや抽象的なので、教職員間で達成イメージを共有できるものとなるように工夫し、方策との連鎖をより明確にして取組を検証することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。評価運営委員会など学校改善を推進する組織を十分活用し、分掌・学年等と学校全体を更に連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			